

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

旧年中は、当センターの活動へご理解ご協力をいただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

「老後は介護保険制度があるから安心」という時代ではなくなりつつあり、互助や共助といった地域での支えあいがより重要となっています。そのような中で、地域ケア推進会議へは地域住民、UR、JKK、民生委員、ケアマネジャー、介護事業所など非常に多くの方にご参加いただき、持続可能な支えあい組織の設立について意見交換を続けてまいりました。

今年は「実行の年」と位置づけ、支えあいに関するグループを設立できるよう準備を進めてまいります。介護認定の有無や年代を問わず、地域にお住いの多くの方が、介護や認知症、見守り、権利擁護といった地域課題を「私のこと」「わたしの家族や友人のこと」として考え、誰もが当事者の一人として地域の将来を考えていく必要があります。これらを実現していくため、本年もより一層のご協力をお願いいたします。

皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

にこにこ健康フェスティバルのご報告

10月4日、5日に「にこにこ健康フェスティバル2025」を、桜美林大学ひなたやまキャンパスで開催しました。当日は骨密度・血管年齢などの健康測定会や、特殊詐欺防止の講話、介護予防体操、地域の皆様及び自主グループの作品展示や舞台発表など、介護予防に関する様々なプログラムを行いました。また会場の外にはアルパカも登場し、ご高齢の方から小さなお子様までふれあいを楽しめました。



10月20日には「にこにこ健康木曽あんしんフェスティバル」を境川住宅で開催し、にこにこ健康フェスティバル同様、大変好評のうちに終えることができました。サポーターの皆さまはじめ、かかわってくださった皆さまへ、支援センター一同心よりお礼申し上げます。今後とも地域との関わりを深め、より多くの方々に貢献できる企画を実施していきます。これからも忠生第2高齢者支援センター並びに、木曽あんしん相談室をよろしくお願いいたします。

